

ラストワンマイル・モビリティ／自動車DX・GXに関する検討会

～担い手確保、自動車DX・GXに関する今後の取組の方向性～

国土交通省 自動車局
令和5年7月

担い手確保に関する取組の方向性

- 現在の旅客自動車運送事業の担い手は、平均年齢が高く、男性比率も高い状態となっているため、新たな担い手の確保に向けては、若者や女性の雇用が重要である。
- ドライバーを中心とした担い手確保のためには、賃上げや職場環境の改善を通じて、若者や女性も含めた全ての担い手候補にとって働きたいと思える職場環境を整備していくことが不可欠。

担い手確保に関する取組の方向性

○国による迅速な運賃改定審査

- ・経済動向や物価情勢を踏まえて運賃改定を迅速に行える環境を整備するとともに、運賃改定による効果のフォローアップを行う。

○PR経費、二種免許取得支援などによる継続的な支援

- ・職場体験なども交えた効果的な採用活動や二種免許取得に係る支援を行う。

○事業者における担い手確保等のための取組の好事例の周知

- ・担い手確保等のための取組の好事例(運転者の健康管理意識向上、ICT技術の活用による労働環境の改善等)の周知を行う。

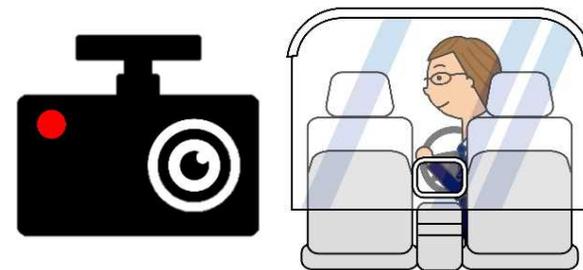
○若者や女性の雇用を促進するための取組



柔軟・多様な勤務形態



綺麗で清潔な更衣室・ロッカー等の整備



防犯設備の整備

(少なくとも女性運転車両については
高度な防犯対策カスタマーハラスメント防止策の実施を促進)

若者や女性の雇用を促進するためにより**安心・快適で働きやすい職場環境づくりを促進**していくなどの取組に加え、「**働きやすい職場認証制度**」を普及させ、労働条件・労働環境の改善に向けた事業者の取組を促す等、**継続的な担い手確保に向けてあらゆる取組を促進**していく。

GXに関する取組の方向性

○2050年のカーボンニュートラルの実現に向けたEV車両等の導入をはじめとした取組は、バス・タクシー事業者にとってエネルギー使用に係るコスト低減による経営改善に繋がり得るものであり、バス・タクシー事業者が国や自治体等の関係者と協力して脱炭素化に向けて取り組むことが重要。

GXに関する取組の方向性

・GXの取組について、関係省庁と連携し、車両の購入、充電・水素充てんインフラの整備等、必要な支援を行う。



EVタクシー



燃料電池バス



電気スタンド



水素ステーション

・GXによるメリットを周知・広報していく。

優れた静穏性、少ない揺れにより、快適な乗り心地の実現(停車・発進を繰り返す路線バスの快適性向上・車内事故防止)

燃料費削減による経営効率改善



EVバス



EVタクシー

十分な航続距離(利便性向上)

災害時等に移動式電源として利用可能

LPガススタンドのない地域でも運用可

・EVバス導入に係る道路運送高度化事業の活用を促進し、予算面、税制面及び手続面の簡素化による総合的な支援を行う。

EV車両等の導入に加え、関係省庁、自治体及び他事業者と連携して**インフラの最適配置**を行い、**再生可能エネルギーによる供給**を進めるなど、**社会全体で脱炭素社会に向けた取組の促進を図っていく。**

DXに関する取組の方向性①サービス面の取組の方向性

○**利便性の向上や効率性の向上が見込めるもので、かつ技術的に実施可能なDXについては、できるだけ早期に事業者を導入されるよう取り組んでいく。**

サービス面の取組の方向性

○キャッシュレス化



出典：「Impress Watch」2020年7月29日付記事

現金無しで運賃を收受
→お釣りの收受等の負担軽減

○タクシーの配車アプリの導入



スマートフォンによるタクシーの予約
→実車率・供給力の向上

○AIオンデマンド交通



AIを活用した効率的なルーティング
→利用者予約に対してリアルタイムに最適な配車の実現

○バス乗降センサー



データ収集
→路線・ダイヤの効率化

○バス情報標準化(GTFS-JP)



経路検索アプリ等によるバス路線や時刻の確認
→利用者の利便性が高い方法で情報を入手可能

○バス位置情報システム



バスの現在地の把握
→バスの遅れや発車時刻が確認可能

様々な自動車DXを相互に連携させて推進し、**安全性や快適性の面において世界最高水準のバス・タクシーサービスを実現**していく。

DXに関する取組の方向性②自動運転に関する取組の方向性

- 公共交通への自動運転の導入は、人件費比率の高い現在のバス・タクシー事業において、大幅にコストを削減しつつ、一人当たり賃金の増加等の効果が期待できるなど、より持続的な経営が期待できる。
- これらの期待がかかる自動運転の実現に向けては、安全性の向上、地域の理解、事業性の確保が課題となっており、これらの課題解決には長期的な取組が必要である。

自動運転に関する取組の方向性

- 自動運転の実現に向けた環境整備が世界で最も進んでいる国の一つである日本において、長期的な視点で優先的に解決していくべき課題等を実証するため、地方自治体等による自動運転の実証実験等の取組に対して支援を行う。

安全性の向上

公道での走行経験を蓄積して安全性を向上



地域の理解

継続的に同じ地域で走行し地域住民の安心感を形成



事業性の確保

実証事業での経験を重ね事業モデルを磨き上げ



自動運転の社会実装を通して、**交通事故の低減**や、路線の維持などの**バス・タクシー事業の持続的な経営**につなげ、**更なる安全・安心な地域公共交通の実現**を図っていく。

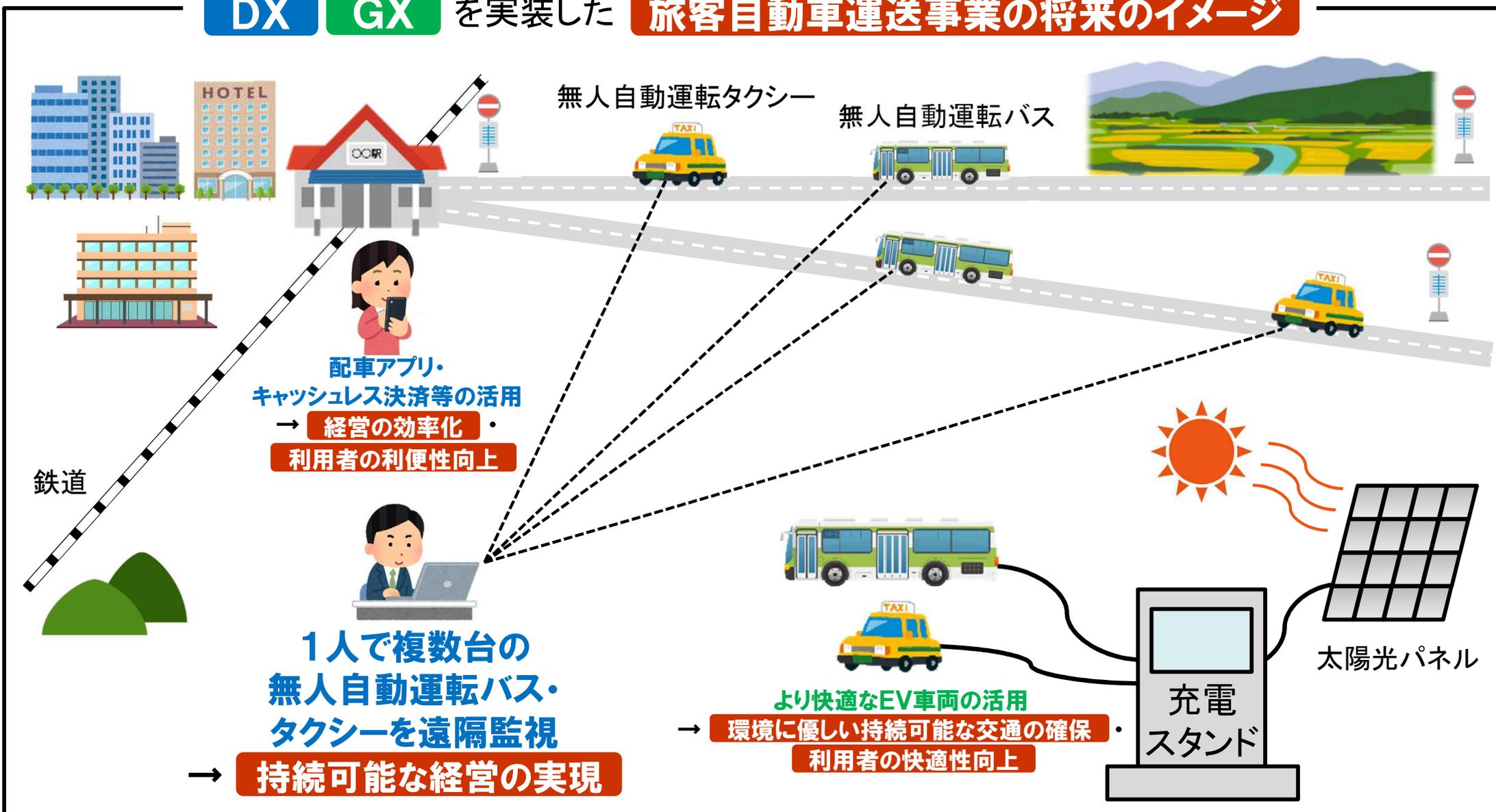
自動車DX・GXによる旅客自動車運送事業の将来のイメージ

DX

GX

を実装した

旅客自動車運送事業の将来のイメージ



EV車両の活用や自動運転等を旅客自動車運送事業に実装し、バス・タクシーの持続可能性の確保や利便性向上を図り、**より便利で安心できるバス・タクシーサービスを実現**していく。